

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 3月 31日

垂水町立 双珠夜寺
デイサービスフルー

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	✓		通所するお子さんの特性等にに合わせて、必要があれば利用人数を調整しています。	
	2	職員の配置数は適切である	✓		定められた人員配置に加え、当日の利用人数、特性に合わせてスタッフの人数や担当配置を毎日決定しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	✓		フルフラット化、クッション素材のマットを設置する等の対応をしています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	✓		ミーティング時や日々のフィードバック時にPDCAサイクルを意識した指導を行っています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	✓		評価表を踏まえ、改善すべき点、周知を徹底すべき点等を洗い出し、対応しています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	✓			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		✓		評価してもらう機関も含め、今後検討していきます。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	✓		定期的に全員参加の研修を行っています。外部研修に出た担当からのフィードバックもしています。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	✓		偏りがないよう、職員全体で客観的な分析を行い、保護者の聞き取りをもとに作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	✓			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	✓		職員から広く意見を聞き、偏り、固定化が無いよう努めています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	✓		外部講師の利用も含め、多くの活動が取り入れられるよう、保護者ニーズも聞き取りながらプログラムを検討しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	✓		利用時間に応じ、個別課題、集団課題を毎回設けて支援しています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	✓			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	✓		出勤時ミーティングで口頭で伝達し、紙面でも共有しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	✓		日々の共有はもちろん、必要があればミーティングの議題にも上げる等漏れが無いよう気を付けています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	✓		日報、連絡帳等、正しく記録をし、振り返りができるよう気を付けています。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	✓				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	✓				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	✓		原則、児童発達支援管理者が参加し、より関わりの深いスタッフがいる場合は同席しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	✓		保護者、学校担任と意識的に連絡を取り合い、対応を行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		✓		現状として、医療的ケアを必要とするお子様はいませんが、必要な場合は、適切に対応します。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	✓		利用が決まった時点で、情報共有を行っています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		✓		今年度は該当のお子様がいなかったため行っていませんが、来年度以降該当のお子様が出た場合は積極的に提供していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	✓			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	✓		例年通り年二回の筑紫女学園との交流会に加え、今年度は他放課後等デイサービス事業所とも交流会を行うなど、回数や内容を含め毎年検討しています。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		✓		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	✓		連絡帳、送迎時の報告、必要があればプラスの面談や電話連絡にて共通理解に努めています。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	✓		こちらが必要と判断する場合や、ご希望がある場合は随時行っています。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	✓		契約の際に漏れの無いよう必須としています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	✓		傾聴や受容を心がけながら、寄り添った支援を目指して随時対応しています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		✓		通所されている保護者より、保護者同士の連携は希望しないとの意見が複数出ているため実施に至っていませんが、今後希望がある場合には、選択制で実施を計画していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	✓		契約時に体制や担当の説明を必須としています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	✓		原則、2か月に一度会報を発行し、活動内容や周知事項などをお知らせしています。	
	35	個人情報に十分注意している	✓			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	✓			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		✓		個人情報等の観点から希望されないとの意見が複数出たため、イベントとして積極的に行ってはいますが、お買い物支援やお外での活動を通じての交流を楽しんでいます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	✓			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	✓		避難訓練の回数を増やし、防災センターでの災害体験、避難時持ち出し用具の点検など、を活動の中に組み込んでいます。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	✓		ミーティング時にマニュアルに沿って研修を行っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		✓		自傷、他傷に繋がる場合は制止することがある旨をマニュアルを用いて全体に周知しています。ただ、現在は身体拘束を行う可能性がある該当者がいないため、計画に記載するまでに至っていません。今後必要がある場合は記載いたします。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	✓			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	✓			